

## 「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」放送原稿〈9月6日（金）放送分〉

### テーマ：「奄美図書館9月行事等の御案内」

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様、おはようございます。鹿児島県立奄美図書館です。

本日9月6日は、クロスワードパズルの日です。「9」と「6」の語呂合せごろあわで制定されています。

クロスワードとは、皆さんご存じのとおり、「カギ」と呼ばれる文章によるヒントを元に、タテヨコに交差したマスに言葉を当てはめて、すべての白マスを埋める「言葉あそび」のパズルです。はまった人も多いのではないのでしょうか？

クロスワードパズルは、フリー百科事典ウィキペディアによると、今から100年前、1913年、「ニューヨークワールド紙」に、イギリス生まれの記者アーサー・ウィンが制作したものが掲載されたのが、最初とされています。日本語のクロスワードパズルとしては、1925年から「サンデー毎日」に連載されたのが最初ようです。現在では、専門雑誌から一般の雑誌・新聞などの懸賞問題に至るまで、幅広く楽しまれています。

全部のマスうを埋めるためには、多くのボキャブラリーと連想力を必要とします。全体のテーマが決まっている場合、そのテーマについての知識が足りなかったり、専門用語を知らないと、とても苦勞することになります。そのことから、単なるゲームとしてではなく、様々な宣伝活動や周知活動にも利用されているようです。

また、クロスワードに似たパズルで、「ナンバークロスワードパズル」、「漢字ナンクロ」と呼ばれるものがあります。これらはクロスワードパズルと異なり、ヒントになるカギがなく、文字の入る白マスすべてに数字が書いてあり、同じ数字の白マスには同じ文字が入るといった難易度の高いもので、より多くのボキャブラリーを必要とするものです。

こうなると、もはや単なるゲームを超えたものになっているのかもしれませんが。

奄美図書館には、パズルのヒントとなる『漢字パズル辞典』もおいてあります。でも、図書館での読書そのものが、クロスワード攻略の参考書かもしれませんね。ボキャブラリーを増やすためにも、大いに図書館をご利用ください。

それでは奄美図書館、9月行事について紹介します。

まずは、奄美図書館の生涯学習講座「あまみならでは学舎」の9月、10月開催分のご案内です。

5時間目は、郷土料理研究家の「泉いずみ 和子かずこさん」を講師に、「島の料理」をテーマにした講演会が開かれます。

期日は、9月21日の土曜日、時間は、午後2時から午後3時30分までです。会場は県立奄美図書館4階研修室です。皆さんの知らない郷土の料理や、知っているけれど作れない定番料理などのレシピが聴けるのではないのでしょうか。

また、6時間目は、南海日日新聞社編集局長の「松井 輝美さん」を講師に、「南海日日新聞に見る復帰60年のあゆみ」をテーマに講演していただきます。私たちの郷土である奄美が日本に復帰して60周年の今年、各地で様々なイベントや活動が行われています。今回は、新聞というメディアを通じ、奄美の日本復帰までの歩みをわかりやすく解説していただきます。

期日は、10月5日の土曜日、時間は、午後2時から午後3時30分までです。会場は、同じく県立奄美図書館4階研修室です。皆さんどうぞご参加ください。

さて最後は、「第10回ネリヤカナヤ創作童話コンクール」についてです。

いよいよ応募の締切が迫ってきました。応募締切は、9月12日、木曜日です。

応募方法等の詳しい内容については、県立奄美図書館にお尋ねいただくか、奄美図書館ホームページをご覧ください。

奄美の豊かな風土・自然に抱かれて育った小学生・中学生・高校生たちの、感性が輝く作品の応募をお待ちしています。

本日も案内した講座等のお申込み、お問い合わせは、奄美図書館までお願いします。

電話番号は、52-0244（繰り返して言う）、FAX番号は52-9634（繰り返して言う）です。

県立奄美図書館でした。来週もまたこの時間にお会いしましょう。